

NPO法人古賀志山を守ろう会活動記録

活動日	令和2年10月29日(木)	活動場所	赤岩山稜線、古賀志山頂付近	
活動内容	危険看板付設、倒木伐採、スズメバチ警告文の付設			
参加者	盛岡 勝	村田鉄三	岩田雄一	桧山 守
	平野昭夫	奈良忠男	下田克明	大出 忠
	小沢寿雄	池田正夫		



参加人員を倒木伐採班、危険看板付設班、スズメバチ警告文付設班の3班に分かれて行った。特に倒木伐採班は手鋸による作業のため労力を要した。(左写真)

古賀志山頂への直登コースにスズメバチの巣があり、上り口付近と山頂からの下山口付近に警告文を巻き付けた。警告文は市の観光交流課に依頼、取り付けは当会が担当した。(右写真)



既存の道標に危険看板を付設したのは北の峰と赤岩山頂の2か所。いずれも向かう方向に危険な鎖場を有し、上り下りには慎重さが要求されるため危険看板を付設した。

(左写真)